

梅まつりに向けて除草

～百梅園ボランティア～

1月19日（木）、百梅園ボランティアによる除草活動が行われました。

毎年多くの方が訪れ、梅の花や香りを楽しんでいる百梅園は開園して19年目となります。

梅が見頃となり始める2月中旬からの梅まつりの時に、来園者が気持ちよく梅を見ることができるよう、約30人のボランティアが手分けをして、安八百梅園内の除草やゴミ拾いを行いました。



▲百梅園の除草を行いました

気軽に茶席を楽しむ

～町茶道協会による春の茶会～

1月15日（日）、中央公民館で町茶道協会主催の春の茶会が行われました。椅子とテーブルを用いて気軽に茶席が楽しめる立礼（りゅうれい）席と、お座敷で本格的な茶席を体験できる薄茶席が設けられました。

参加者に気軽にお茶の世界を体験してもらうことと、同協会のこれまでの練習の成果を披露することを目的としています。

参加者は、春をイメージした和菓子と抹茶を色彩豊かな茶器とともに楽しみました。



▲立礼席でお抹茶を楽しむ様子

おいしいおもちでお腹いっぱい

～各施設でもちつき～

1月5日（木）、社会就労センターひかりの里では新年のお祝いとして、昨年牧小学校5年生児童と牧区長会が収穫した古代米を使った赤飯ともちが入ったぜんざいを食べました。

1月7日（土）には名森野球スポーツ少年団が、名森小学校でグラウンド開きを行いました。1年間ケがなく過ごせるように白髭神社にお参りした後は、夏に自分たちで田植えをしたもち米を使ってもちつきをしました。

1月15日（日）には牧小学校でおやじの会主催によるもちつき大会がありました。つきたてを一口大にちぎり、あんこときな粉をつけたおもちがふるまわれ、参加者はお腹いっぱいになるまでいただきました。



▲息を合わせてべったんべったん（名森野球スポ少）



▲赤飯とおもち入りのぜんざいをいただきました（ひかりの里）



▲つきたてのおもちはのび～（牧小学校）